

情報科学

(Information Science)

担当教員

教授 深田 守
 准教授 藤原 洋一
 講師 石川 誠司

科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等
専門基礎（講義）	1年次 前期	講義	1.5単位	必修

【概要】

現在、「情報」という概念は、知識、知識の表現、コミュニケーションを含む広い範囲に及んでおり、この情報を適切に収集・処理・発信する能力が重要である。薬学生にとってもできるだけ早い時期にレポート作成やプレゼンテーションのスキルを身につける必要があるため、ワープロ、表計算、化学式作成、プレゼンテーションなどのソフトウェアを使用し、それらを総合的に活用できるようにする。また、ソフトウェアの基礎であるプログラミングの概念についても学ぶ。

【授業の一般目標】

ウェブに掲載した授業内容に沿って、学習課程管理システム（CMS）のMoodleも利用しながらインタラクティブな授業をおこなう。一人につき1台のパソコンと1台の教員機画面受信ディスプレイを使って授業を進めるが、もし授業中に理解が不十分と感じたときは、必要に応じて情報科学補講を受講することができる。また、受講者はK11、K12、K21の演習室にあるオープン利用のPCを復習や課題作成などに積極的に活用してほしい。

【準備学習(予習・復習)】

別途指示する。

【学習項目・学生の到達目標と、対応するSBOコード】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標	SBOコード
1	イントロダクション	深田、藤原、石川	本学で学んでいくための基本的なパソコン操作をおこなうことができる。	
2	ワープロソフトの基本操作	深田、藤原、石川	ワープロソフト（Word）を用いて文書を作成することができる。	
3	プレゼンテーションソフトの基本操作	深田、藤原、石川	プレゼンテーションソフト（PowerPoint）の基本的な操作ができる。	
4	表計算ソフトの基本操作	深田、藤原、石川	表計算ソフト（Excel）を用いることができる。	
5	表計算ソフトの活用（1）	深田、藤原、石川	表計算ソフト上で関数計算や科学データ用グラフの作成ができる。	
6	表計算ソフトの活用（2）	深田、藤原、石川	表計算ソフトにおけるマクロの概念を理解する。	
7	プログラミングの基礎	深田、藤原、石川	ソフトウェアの基礎であるプログラミングの概念を説明できる。	
8	化学式作成ソフト（1）	深田、藤原、石川	化学式作成ソフト（ChemBioDraw）を用いることができる。	
9	化学式作成ソフト（2）	深田、藤原、石川	化学構造式を作成することができる。	
10	ワープロソフトの活用	深田、藤原、石川	レポートなど、実践的な文書を作成することができる。	
11	プレゼンテーションソフトの活用	深田、藤原、石川	プレゼンテーションをおこなうことができる。	
12	ネットワークの基礎	深田、藤原、石川	インターネットを利用でき、そのセキュリティについて説明できる。	
13	ネットワークの活用	深田、藤原、石川	ネットワークのしくみと活用法について概説できる。	
14	総合演習	深田、藤原、石川	ソフトウェアを目的に応じて活用することができる。	
15	総括・まとめ			

(書名)

(著者・編者)

(発行所)

参考書 適宜、資料を配布する。

【成績評価方法・基準】

小テストの成績、課題提出および出席率等で評価する。

【備考】(担当教員に対する質問等の連絡方法)

演習室には複数の教員がいるので、分からなくなった場合など、遠慮なく質問して授業の進行に遅れないようにすること。その他、随時に情報処理教育研究センターで受け付ける。